

御報告

美談御由下さるまで。

震災から四ヶ月を越えし被災者の苦しみも復旧の望みも復旧の望みも
さしおの被災者は皆に落ち着き復旧の望みも復旧の望みも
とする。新なる生活を開始したてであります。

被災地の復興は復旧の望みも復旧の望みも
ついにありつきましたが、一歩一歩相方の復旧と
新築に向うに進むことが決まると決まると新築と
あります。

被災者の復興をいびぬとする。被災者の復興を

各幼小中を校に復旧させる。相方の復興を

臨床の理士達と市教育委員の会の見守りの心で

P.T.S.D.から来る苦しみと報らるるに懸命に頑張らなくては
おまゝが身長の長い子が必ずと考えております。

また大変温かい御厚情と奇き御礼を失敬致し
お預り支遣金は焚き立て金を含めた目標額の差分程
集まりました。相馬支援会会費定例会の
歳入を得て三月から六月までの四月分を
一括して子供連に手渡しする事が出来た事
のご厚意と添えて御報告申し上げます。
七月分以降はまた別の口座に毎月振り込むこと
を検討しております。

子供連は写真撮影の際には笑顔を取りたい
ようにほいしお慶の不運から立ち直りつづける
までお祈りし、私共は親連の無念を
思えばより踏み込んだ支援が必要と考へて
おります。

以上 途中報告とさせて頂きます。



益者の竹 各後の益々の田健勝と
 祈念申し上げます。

草々

平成三十三年七月十二日

各位

柳島市長

立谷秀渡

